

# POLE

北海道ポーランド文化協会会誌「ポーレ」  
第35号 1996. 11. 1

発行  
北海道ポーランド文化協会  
〒060 札幌市中央区南2東1  
河合楽器製作所北海道支社  
電話 011-231-8661  
FAX 011-221-4936

## 今村成和先生の死を悼む

吉田 宏

北海道ポーランド文化協会前  
会長の今村成和先生が十月十三  
日に亡くなられ、十五日に告別  
式が行われた。一九八七年十月  
にポ文協が設立されて以来七年  
にわたって会長として、一九九  
四年からは名誉会員として、ポ  
文協を発展に導き、活動を支え  
ていただいた先生を失うことは、  
ほんとうに残念なことです。会  
員のみならずとも心からご  
冥福をお祈りしたいと思います。



(一九八七年十月設立祝賀会での今村先生)

今村先生は、一九七五年から八  
一年まで北海道大学の学長をして  
おられました。先生のご専門の  
法学からは遠くにいたため、同じ  
大学に居ながら先生に直接お目  
にかかる機会はありませんでした。  
先生と初めて話したのは、学長を  
やめられてから久しい、一九八七  
年六月二十四日のことでした。そ  
の日の夕方から、ポ文協の設立発  
起人会が北大のクラーク会館で開  
かれました。先生は、最初は、発  
起人代表を引き受けるわけではな  
く、どのような相談が行われるの  
か見に来たのだと言われていまし  
た。長い相談が終わって会の終了  
間際に、私が「このような協会で  
すが、どうでしょうか」とおうか  
がいたところ、発起人代表を快  
くお引き受けいただきました。そ

のことが、七年間も会長をしてい  
ただくことに繋がりました。

その後、四回の発起人会を経て  
十月二日に京王プラザホテルでの  
設立総会に至りましたが、そのと  
きの先生の晴れやかなお顔をいま  
も鮮やかに思い出します。本協会  
は、いずれの政府や団体とも関係  
がなく、自主的に運営される集ま

北海道ポーランド文化協会 創立10周年記念コンサート

### ポーランド音楽の夕べ

1996. 11. 8 (金) PM6:30 開演

会場 かねてろ27ホール  
主催 北海道ポーランド文化協会  
後援 北海道新聞 / 河合楽器製作所北海道支社  
日本シヨパン協会北海道支部 / S.P.A.

りであること、特定の分野あるいは専門に偏ることなく広く文化交流の促進を目指すものであること、そのために活発な行動をすぐ開始することなどを、格調高く述べられた会長挨拶が、POLEの第一号に記録されています。この設立総会の席で、二年後の改選に  
適当な会長候補を探しておくようにと今村先生から命じられました  
が、先生の意に逆らって七年間も  
会長を続けていただくことになっ  
てしまい、その間に、ポ文協が飛  
躍的な発展を遂げたことは、私が  
今更申すまでもありません。

一九九四年一月三十日、ポ文協  
運営委員会と合わせる形で、今村  
先生が学士院会員になられたお祝  
いの会がSPACE札幌で開催されま  
した。先生のご専門である法学の  
業績で、我が国の学者として最高

の栄誉である学士院会員になられ  
たわけで、ポ文協の活動とは直接  
関係がないとはいえ、ポ文協会員  
にとっても嬉しいことでした。急  
遽集まれる人だけが集まったとい  
うささやかな会でしたが、派手な  
ことを余り好まれない先生が心か  
らくつろいられるご様子であっ  
たことを思い出します。

振り返ってみると、我が国有数  
の法学者でかつ偉大な教育者で  
あった今村先生の晩年の比較的長  
い貴重な時間を、先生の本来のお  
仕事とは関係のないポ文協に割い  
ていただいたことになりました。  
おかげで、ポ文協の会員は先生の  
そばで豊かな時間を持つことがで  
きました。先生にはすまないこと  
をしたと思わないではありません  
。先生に心から感謝を捧げ、お  
別れにしたいと思います。

(北大教授、前事務局長)

## 第十回総会・懇親会のご案内

今年の十月からポ文協設立十  
周年目に入ります。その記念す

べき総会・懇親会を左記のよう  
に開催します。たくさんの会員

に参加していただき、十周年  
記念のお祝の会を盛り上げたい  
と考えております。ご家族、お  
友達もお誘い下さい。歓迎いた  
します。

◎日時 十一月二十八日(木)午  
後六時三〇分より

◎場所 すみれホテル(北1西  
2、電話 261-5151)

### 総会

一、今村先生を偲んで  
二、前年度の事業および決算報

告  
三、今年度事業および決算報告  
四、功労者への表彰  
懇親会  
一、ピアノ演奏  
ショパン/バラードOp.52  
演奏 明上山 貴代さん  
二、会食  
◎会費 会員二千五百円  
非会員 四千元  
準備の都合上、同封の葉書で  
出欠をお知らせ下さい。

## ポーランド語講習会の歩み

富山 信夫

一九八九年五月開始以来七  
年、二十一回の講習会を開催で  
きた。第一期は、毎回わざわざ  
釧路からご足労いただいたカ  
ジュミル・コグト、亀岡延枝・  
コグト両先生のご指導で開講さ  
れた。第二期以降は熊倉ハリー  
ナ先生(札幌在住)がずーっと  
担当され、第二十一期からは高  
岡美保先生にも応援いただいで  
いる。簡単な挨拶・会話・基礎



(講師の熊倉ハリーナさんと高岡美保さん)

文法、時にはポーランド民謡で発音練習をしたりして、難しい言葉を楽しく勉強してきた。

この間の受講者数は52人延べ250人にも達した。なお、受講回数別の内訳は、1回だけの受講の方は18人、2〜5回受講の方は19人、6回以上の方は15人である。シヨパンはどんな言葉を、ポーランドへ旅行することになったのでせめて挨拶ぐらいは、ポーランド滞在の思い出からもういちどあの言

葉を、スラブ圏の言語・文化勉強の一環として、などいろいろな方が受講された。

現在、第二十二期（入門コース）開講中。なお、明年の第二十三期は、協会で計画中のポーランド旅行に備え、「入門コース：すぐ役に立つポーランド語」を考えております。初めて習う方、復習される方、また旅行に関係なく勉強されている方も、ご期待下さい。

## 池田町ワイン祭りツアーに参加して

佐々木 保子

第二十八回例会は、十月五日「池田町ワイン祭り」ツアーを実施しました。例会としては初めての一泊二日の小旅行です。参加者は九名（内池田町在住会員二名）でした。

五日朝九時、札幌を出発。秋晴れの中、日勝樹海ロードの紅葉を楽しみました。鹿追町の神

田日勝美術館を見学。日勝は、鹿追で営農のかたわら、油彩画を製作し続け、三十二才で急逝した画家です。ひっそりとした町の中に、近代的建物の美術館は、町のイメージ・アップに一役買っている様です。

その後は、十勝川を登って来る鮭を、千代田堰堤で見まし

た。鮭が川面を飛びはねる姿を見ているうちに、石狩鍋ならぬ十勝鍋を食べたいということになり、一路池田町に向いました。

宿泊予定の「まきばの家」は、町からはずれた丘の上にあ



ました。

午後十時すぎ、研修室で栗原先生の「ポーランドの諸都市の伝説」と題するお話を伺いました。

ワルシャワの名称の由来は、貧しい農家のワルシュとサヴァという双子の名前からつけられたという伝説や、ポーランドのシンボルの鷲の話など、ポーランドに伝わる民話を、いろいろな資料をもとにお話し下さいました。

池田町会員の差し入れのワイン、ブランドーと、持ち込みのつまみで、宴会の様な雰囲気の中で、先生が配布した資料を参考にしながら、まじめに話しを伺いました。先生のお話から、いろいろ話題が拡がり夜遅くまで楽しい会話が続きました。

六日は、午前中、全員でパークゴルフを楽しみました。ややお腹が減ったところで、ワイン城の前で開かれているワイン祭の参加。ワイン飲み放題。焼肉食べ放題。楽しい例会となりました。



した。

池田町会員の藤平隆さんと黒川俊男さんに大変お世話になりました。ありがとうございます。

## ポーランドツアー

本文化協会では、一九九七年九月中頃にポーランドツアーを

## ポーランドの物価について

ポーランドの新聞 POLITYKA に、生活部物価一覧が載っていましたので、その一部を紹介いたします。北海道の価格と比較してみましよう。

変革前に比べて、オレンジ、

本に似ておりません。

品物	市価(1995)		POLITYKA (1996. 1. 6)より		
	単位	円換算*	月収で購入できる量	'95 [8]	'94 '86-'88
パン	kg	60	536	497	524
牛乳	l	38	833	938	1224
バター	250g	72	441	321	209
砂糖	kg	72	441	436	275
牛肉骨付	kg	319	100	102	109
豚ロース	kg	425	75	66	49
ソーセージ	kg	234	136	122	171
馬鈴薯	kg	26	1,250	1,017	1,004
リンゴ	kg	64	500	488	288
オレンジ	kg	106	300	265	47
コーヒー	100g	81	395	265	65
ウォッカ	0.5l	519	61	71	26
チョコレート	100g	60	536	432	106
婦人美容室	回	680	47	34	58
紳士背広	着	16,600	1.9	2.2	2.4
冷蔵庫(280l)	台	56,500	0.6	0.6	0.6
カラーテレビ(21型)	台	41,200	0.8	0.7	0.1
映画	回	255	125	122	77
新聞	部	42~81	573	560	2,185
市営交通	回	17~34	1,407	1,525	2,532

[\*註] 新1zは42.5円として (2.47zは1円=105円)

計画しています。ポーランドの日本協会との交流、ホームステイ、ガイド付きのツアーなどを予定しています。費用は、本年度の実績では往復旅費が十万円程度、それに国内の運賃、ポーランドでの滞在費がかかります。詳しくは追ってお知らせします

コーヒー、チョコレートなど輸入食品は、国産品より相対的に安くなりましたが、公共交通料金などは相対的に高い水準にあるようです。こんなところは日本に似ておりません。

## Piotr Paleczny piano recital

ピオトル・パレチニ  
ピアノ・リサイタル



なお、前年に比べて、月収の増加は約15%、物価も漸増しているの、実質購買力の増加は5~10%のようです。変革後、年々着実に向上している市民経済の姿がうかがえます。

(富山信夫)

道新ホール '96年11月5日(火) 18:00開場・18:30開演

全席自由/一般4,000円 学生3,000円  
主催：東京アイエムシー 03(3401)9561  
後援：ポーランド共和国大使館、北海道新聞社、  
ポーランド文化協会、日本シヨバシ協会北海道支部

「ポーレ」編集委員会  
小笠原正明・斎田道子  
佐々木保子・安田誠子  
〔連絡先〕621-1783 (斎田)

### カワイは、世界一のピアノづくりをめざしています。



コンサートグランドピアノEX

音楽の心を豊かにくらしに広がります。

カワイのグランドピアノは、EXを頂点に、

世界のKAWAIとして、高く評価され感動の輪を広

株式会社 河合楽器製作所

北海道支社 札幌市中央区南2条東2丁目  
TEL (011)231-8661

## POLE 第 35 号(1996.11.1) 目次

吉田宏「今村成和先生の死を悼む」、創立 10 周年記念コンサート(1996.11.8)のお知らせ……………	1
第 10 回総会・懇親会(1996・11・28)のお知らせ、富山信夫「ポーランド語講習会の歩み」……………	2
佐々木保子「池田町ワイン祭リツアーに参加して」……………	3
来年のポーランドツアーを計画中、ポーランドの物価について(「ポリティカ」誌より)、ピオトル・パレチニ・ピ アノリサイタル(1996.11.5)のお知らせ……………	4